



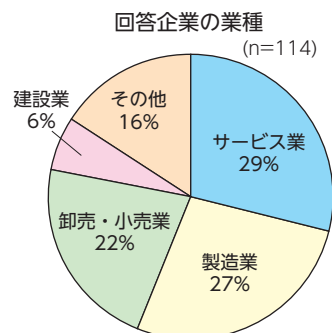
1. 企業における環境教育

中部企業の環境教育の現状

中部地域の企業における環境教育および環境社会貢献の現状を把握するため、2014年2月7日から25日にかけて、名古屋商工会議所会員企業を対象にWEBアンケートを実施しました。その結果、114社から回答をいただきました。以下に調査結果の概要を紹介します。

〈回答企業の概要〉

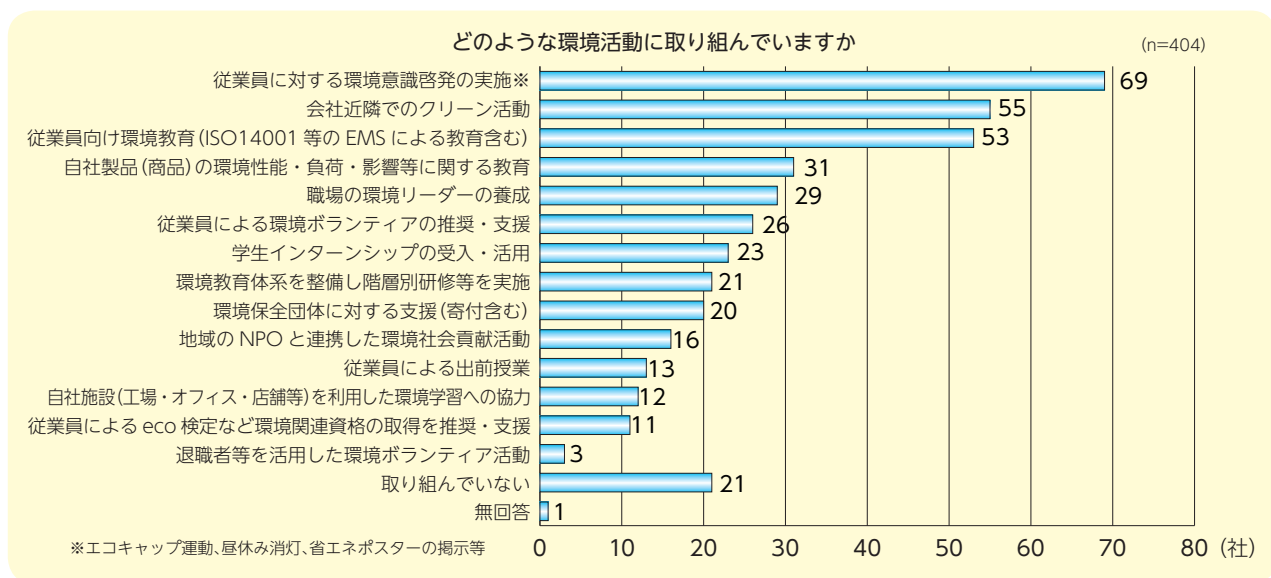
- 従業員数については、回答企業の約66%が、「300人以下」であり、残りの約34%が「300人超」。業種については、「サービス業」が最も多く、次いで「製造業」、「卸売・小売業」の順に多い。
- 環境認証の取得については、「取得していない」が全体の約55%を占め、約39%が「ISO14001」を、約7%が「ISO14001やエコアクション21以外の認証」を取得している。



アンケート調査結果 (抜粋)

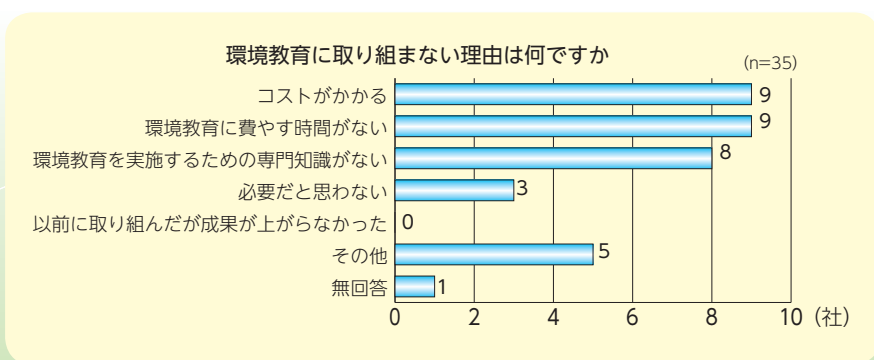
【設問1】 どのような環境教育・環境社会貢献活動に取り組んでいますか。(複数回答)

- 「従業員に対する環境意識啓発の実施」が最も多く、次いで「会社近隣でのクリーン活動」、「従業員向け環境教育」の順となっている。一方で、「自社施設を利用した環境学習への協力」「従業員による環境関連資格の取得を推奨・支援」「退職者等を活用した環境ボランティア活動」については、取り組む企業が少ない。なお、21社が「取り組んでいない」と回答した。



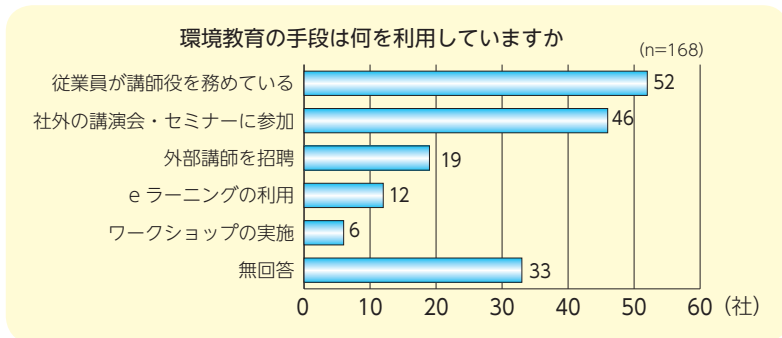
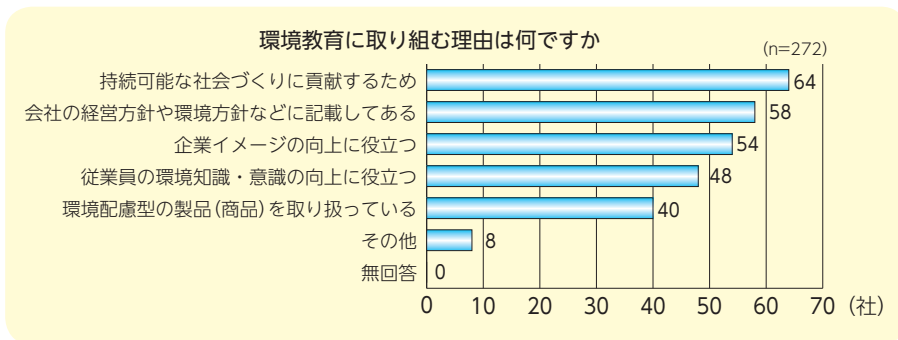
【設問2】 環境教育・環境社会貢献に取り組まない理由は何ですか (複数回答)

- 取り組まない理由の大半は、コストや時間、専門知識の不足である。



【設問3】 環境教育に取り組む理由は何ですか。(複数回答)

○持続可能な社会づくりに貢献するというESDの考え方にに基づき取り組む企業が多い。経営方針や環境方針への記載は環境教育を進める上での有効な手段とも言える。

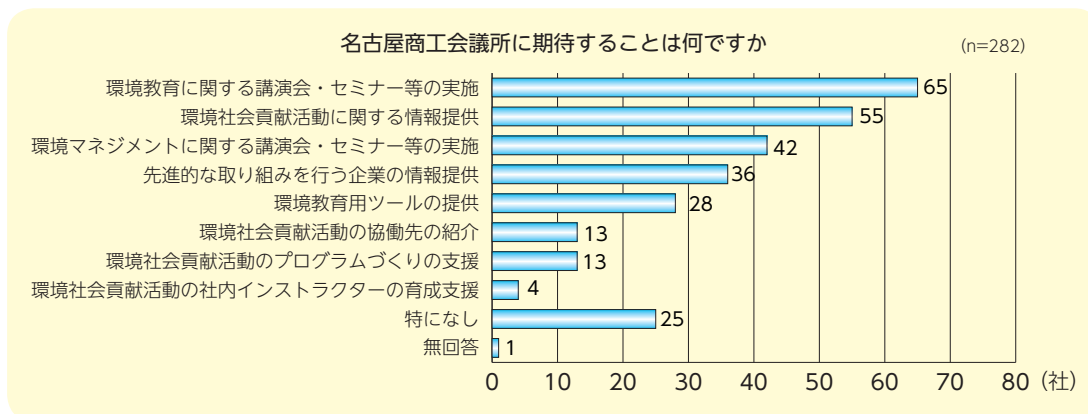


【設問4】 社員に対する環境教育にはどのような手段を利用していますか。(複数回答)

○環境教育の手段としては「従業員が講師役を務めている」「社外の講演会・セミナーへの参加」が多い。

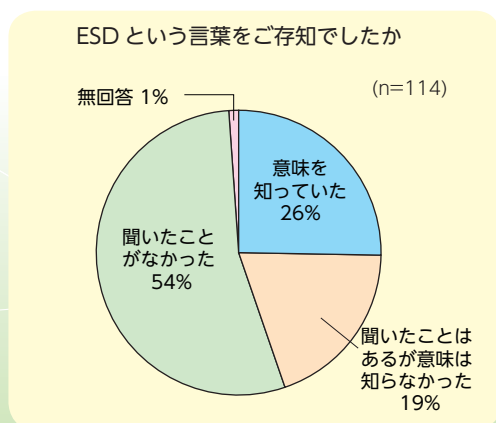
【設問5】 貴社が環境教育・環境社会貢献活動を促進するために名古屋商工会議所に期待することは何ですか。(複数回答)

○講演会・セミナー等の実施が一番多く、一方で環境社会貢献活動に関する情報提供のニーズも高い。環境教育用ツールの開発を望む企業も少数ある。



【設問6】 ESDという言葉をご存知でしたか。(単純回答)

○約半数の企業が、ESDという言葉が「聞いたことがなかった」と回答し、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」が約19%を占めたことから、ESDの普及・啓発が必要であることが示唆される。



【設問7】 ESDユネスコ世界会議が名古屋で開催されることをご存知でしたか。(単純回答)

○7割近くの企業が、「知らなかった」と回答していることから、ESDに関する情報提供や普及・啓発活動が課題であることがわかる。

